

男女共同参画の視点で女性たちが協力し合いエンパワーメントできるような関係をイメージして名付けました。

# シスターフッド

(2025.01.15 発行 第74号)



～参加、尊重、守秘の精神を大切に～

## 豊橋女性団体連絡会とは

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

## 令和6年度参加団体

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、  
新日本婦人の会豊橋支部、とよはし女性フォーラム、NPOとよはしCAP、  
ハッピーグループ、NPOまんま、豊橋商工会議所女性会、農村輝きネット・東三河  
ラ・ポール、Kids&MamaNPOねこのて(休会)、JA豊橋女性部会(休会)

## ◆豊橋市長との懇談会を行いました

令和6年8月21日、豊橋市役所市長応接室において市長との懇談の機会が設けられ、6団体6名が参加しました。

今回参加した団体は下記のとおりです。

### <参加団体>

東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、  
NPOまんま、豊橋商工会議所女性会、  
農村輝きネット・東三河、ラ・ポール



## ◆「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発運動を行いました

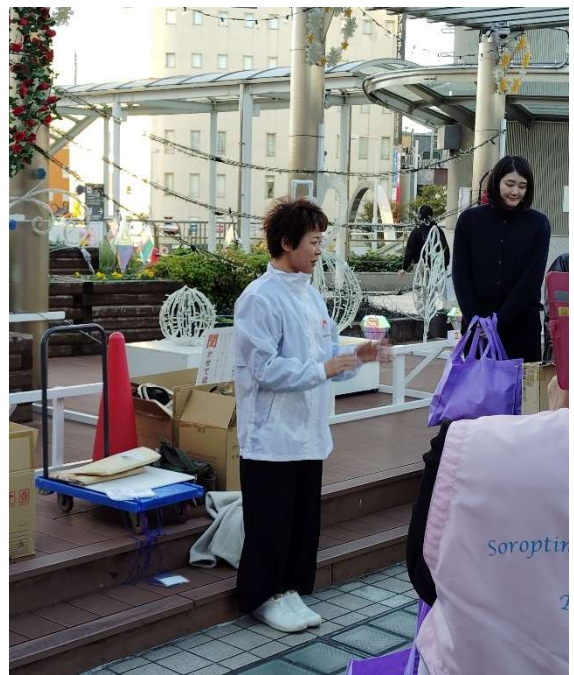
令和6年11月18日16時から豊橋駅東口駅前広場周辺において、国際ソロプチミスト豊橋、豊橋人権擁護委員協議会の方々と啓発運動を行いました。

時折冷たい風が吹く中、「女性に対する暴力をなくす運動をしています」と声をかけながら、ティッシュや活動を紹介するリーフレットをお渡ししました。



短い時間でしたが活動に参加して、「暴力をなくす」ことだけでなく、「相談する場所があること」や「相手に寄り添うこと」を周知するための運動であり、その重要性を理解することができました。

令和6年11月12日から25日までの期間中は、豊橋市中央図書館にて関連図書展示、市役所内でダブルリボンツリー(パープル・オレンジ)の展示、市役所内で横断幕の掲示、ダブル(オレンジ・パープル)リボンの職員着用が行われていました。



## ◆三遠南信地域女性交流会を開催しました

<村井真子会長のコメントです>

去る11月20日、豊橋市美術博物館と上下水道局にて、三遠南信地域女性交流会を無事開催いたしました。まずは会場を提供くださった上下水道局、美術博物館のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

午前中は豊橋市美術博物館の岡田巨世館長による講演「絵画における女性の労働、まなざされ方～上村松園について～」をお楽しみいただきました。

「まなざし」という言葉に込められた意味とその影響について深く考える機会になればと思います、このタイトルでお願いした次第です。



「まなざし」は時に暴力となり得るものです。相手の感情や状況を考慮せず、見る側の勝手な解釈や欲望によって相手を消費する行為という意味合いがまなざしには含まれます。特に女性は歴史的に「美」の対象として、一方的な眼差しによって消費されてきたという経緯がありました。画家はまさにこのまなざしを画布に描き価値を提示する職業であり、こうした観点から、女性として初めて文化勲章を受けた上村松園がどのように女性を描いてきたかをテーマに据えていただきました。

岡田館長のご講演では、自らの視点で女性の気高さや強さを描こうとしたという解説があり、その功績は計り知れないというお話がありました。また、女性の進学すらも珍しい時代に京都府画学校へ進学し、気骨をもって画業を仕事として選び取れたことは、母親の強力な後押しがあったとのことでした。

岡田館長自身も女性として初の館長と言うキャリアを掴まれた方であり、自身の仕事を愛している姿も本当に参加者に大きな感銘を与えました。

後半は、同館で開催中の企画展「星野真吾賞展～明日の日本画を求めて」の見学。これもまた、多くの新しい発見と刺激を受ける時間となりました。

今回の交流会が、参加者の皆様にとって有意義な時間となっていれば幸いです。参加くださいました皆様、準備にご尽力くださいました連絡会の皆様にご心より感謝いたします。



<参加された朝倉三恵さんのコメントです>

前半の岡田館長の講演では、女性目線での美術館の在り方、新しくなった豊橋市美術博物館の魅力や、上村松園の生い立ちや作品のお話しなど、とても興味深く聞き入ってしまい、時間が足らず、もっとお聞きしたいことがたくさんありました。

美味しい昼食をはさみ、後半のグループワークでは、しっかりとしたテーマを決めず話し合いをしたことで、様々な意見が出されこれこそ交流！といったものでした。

更に、豊橋市美術博物館に移動し、星野眞吾賞展を鑑賞させていただき、充実して学び多く、また楽しく有意義な時間を過ごすことができました。ご尽力くださいました、市民協働推進課の方々また役員の皆様ありがとうございました。



▲東愛知新聞 2024年11月23日に掲載



～ 笑顔いっぱいの記念撮影 ～

【奥付】豊橋女性団体連絡会広報誌シスターフッド 2025年1月15日発行  
編集・発行担当者 石田容子(わっぱの会)、夏目美鈴(とよはし未来を拓く会)  
鈴木節子(ラ・ポール)